

砺波市総合戦略（素案）

目 次

I	基本的な考え方.....	1
1	総合戦略策定の趣旨.....	1
2	総合戦略策定の位置づけ.....	2
3	期間.....	2
4	目標人口.....	2
5	目指すべき方向性.....	3
6	総合戦略の推進.....	4
7	総合戦略の体系.....	5
II	基本的な施策の方向性とKPI.....	6
1	産業を育み、安定した雇用を創出する仕組みづくり.....	6
2	ふるさとの魅力を発信し、人を呼び込む・呼び戻す活力あるまちづくり.....	12
3	若い世代の結婚、 出産 、子育て、教育の希望をかなえる環境づくり.....	17
4	砺波らしい生活環境を守り育て、すべての世代が安心して暮らせる地域づくり..	22

I 基本的な考え方

1 総合戦略策定の趣旨

我が国の人口は、2008年（平成20年）をピークに減少局面に突入しており、2010年（平成22年）に12,806万人であった日本の総人口が、地方を中心に加速度的に減少を続け、2060年（平成52年）には8600万人程度にまで減少すると予想されています。

本市においても2005年（平成17年）をピークに人口は減少に転じており、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、平成52年（2040年）に42,073人、平成72年（2060年）に34,698人まで減少すると推計されています。

そして、この人口の減少は、特に地方を中心に、地域経済活動の縮小や雇用の減退、生活関連サービスの低下を招くなど、地域社会に大きな影響を及ぼすものと考えられます。

このような状況の中、国においては平成26年11月に「まち・ひと・しごと創生法」を施行し、12月には我が国の地方創生や人口減少対策を盛り込んだ「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定して、今後の「地方創生」の方向性が示されました。

こうした流れを受けて、本市においても、「砺波市総合戦略」を策定し、地方創生に向けた取り組みを重点的に推進することにより、人口減少の克服、地域経済の発展や活力ある地域社会の形成を目指していきます。

まち・ひと・しごと創生総合戦略の考え方

① 「東京一極集中」を是正する。

地方から東京圏への人口流出に歯止めをかけ、「東京一極集中」を是正するため、「しごとの創生」と「ひとの創生」の好循環を実現するとともに、東京圏の活力の維持・向上を図りつつ、過密化・人口集中を軽減し、快適かつ安全・安心な環境を実現する。

② 若い世代の就労・結婚・子育ての希望を実現する。

人口減少を克服するために、若い世代が安心して就労し、希望通り結婚し、妊娠・出産・子育てができるような社会経済環境を実現する。

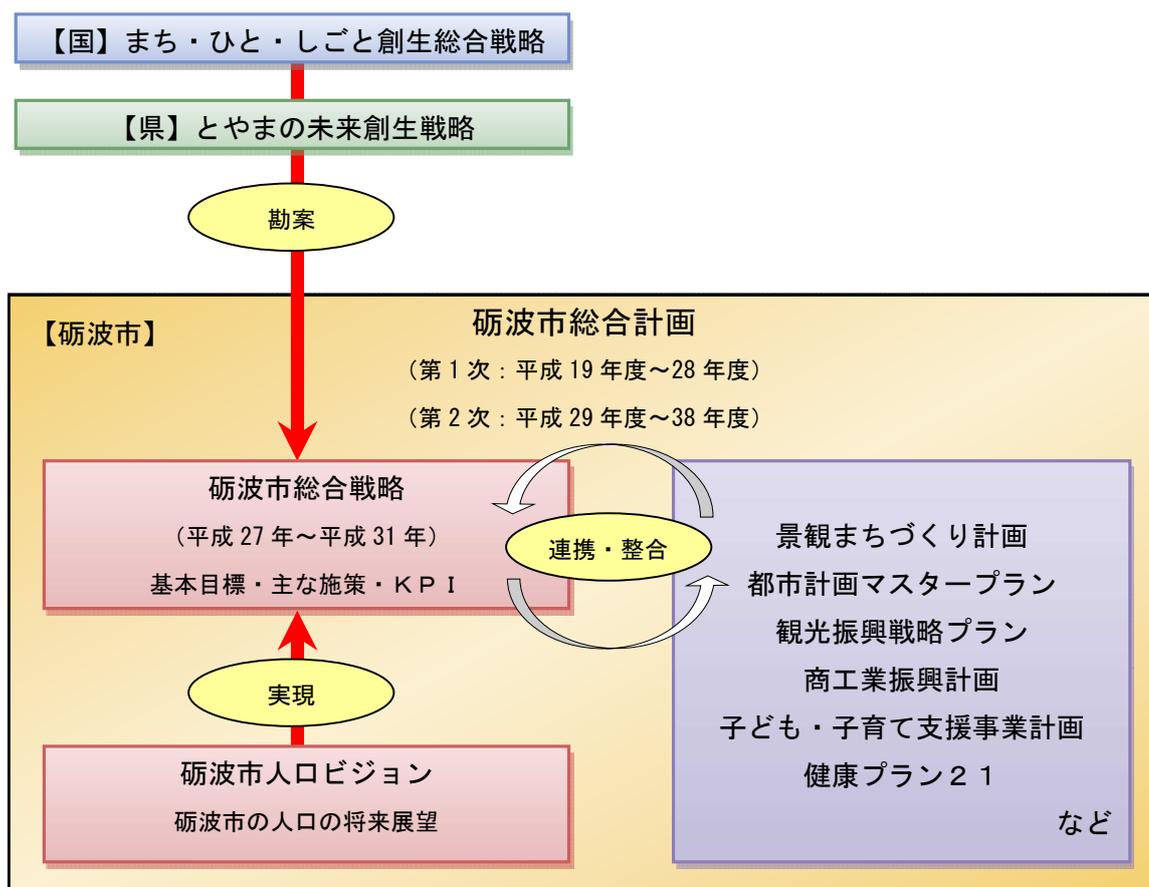
③ 地域の特性に即して地域課題を解決する。

人口減少に伴う地域の変化に柔軟に対応し、中山間地域をはじめ地域が直面する課題を解決し、地域の中において安全・安心で心豊かな生活が将来にわたって確保されるようにする。

2 総合戦略の位置づけ

国が策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」や県が策定を進める「とやまの未来創生戦略」を勘案し、「人口減少と地域経済縮小の克服」、「まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立」を目指し、地域の特色や強みを活かした持続可能な社会の実現を目指していきます。

また、本市における人口の現状と将来展望を示した「砺波市人口ビジョン」を踏まえ、現在計画期間中である「第1次砺波市総合計画」および平成29年度からの計画開始となる「第2次砺波市総合計画」を最上位計画としてその内容と整合を図るとともに、その他の各種計画等との連携をとりながら戦略を推進していきます。



3 期間

総合戦略の対象期間は、平成27年度～平成31年度の5年間とします。

4 目標人口

平成72年（2060年）の目標人口40,000人を目指します。

5 目指すべき方向性

本市は大都市と比べて自然環境に恵まれ、生活の利便性が良く、災害や犯罪が少ないほか、待機児童もなく子育て環境が充実しているなど、ゆとりのある空間の中で子どもが育ち、安心して子育て・教育ができるという恵まれた環境があります。

また、全国トップレベルに位置付けられる住みよさ（2015年の「住みよさランキング」は全国8位）や、地域コミュニティの強さは、砺波市の魅力であり、人と地域が一体となって取組を進めていく土台となっています。

砺波市総合戦略においては、この優れた豊かさを一層伸ばしつつ、さらに定住を促進して、市民の**出産**・子育て等の希望をかなえていくため、4つの基本目標を柱とし、日本有数の豊かで住みやすく子育てしやすい環境づくりに取り組むことにより、“となみ創生”を目指していきます。

(1) 産業振興に取り組み、雇用を創出する

若者の地元定住やUターンの促進に向けて、**企業誘致**や起業支援、既存**企業**に対する支援などを通して多様な産業の育成を図るとともに、**農業**や**伝統工芸**など砺波らしい産業の魅力創出に向けて取り組むなど、若者が求める魅力ある雇用の確保を目指します。加えて、中核市である富山市や金沢市から比較的近距離であるという特性を活かし、砺波市に住みながら市外に通勤できるよう検討を進めるなど、産業振興に取り組み、雇用の創出を図っていきます。

(2) 砺波の魅力を発信し、交流・定住人口の拡大を図る

砺波市の誇る、散居村に代表される豊かな自然環境や、魅力ある**特産品**や地域資源などを活かしつつ、北陸新幹線の開業や発達した高速交通網の強みを活かした近隣地域と連携した観光振興により交流人口の拡大を目指すとともに、砺波市を訪れた人々に、本市の魅力を売り込むことで定住促進につなげていきます。また、若者にとって魅力的な仕事の創出に加え、砺波での暮らしの魅力を伝え、「砺波市に住んでみたい、帰ってきたい」と思わせる情報発信により、UIJターンの促進を図ります。さらに、**屋敷林**に囲まれたアズマダチやマエナガレなどの伝統家屋を、都市からの定住者の住居としてだけでなく、定住・半定住の拠点として、様々な利活用の方法を検証するなど、定住・交流人口の拡大を図ります。

(3) 結婚支援と子どもを産み育てやすいまちづくりの推進

出生率を高めるため、若い世代が理想とする子どもの数が産めるよう、子育て・教育に対する多様な支援の充実を図ります。また、未婚化や晩婚化を抑えるため、地域ぐるみでの出会いの場の創出や情報提供など、若者に対する結婚支援の拡充を図ります。さらに、子どもを持つ女性が働きやすい雇用機会の創出や多様な勤務体系の導入などにより、子どもを産み育てやすい地域社会を実現していくとともに、このような取組を広く発信し、結婚・子育て

世代の呼び込みを図るなど、結婚支援と子どもを産み育てやすいまちづくりを地域ぐるみで推進していきます。

(4) 散居村の豊かな生活環境の中で、人の絆で支え合う「住みよい」まちづくり

三世同居・近居の積極的に推進し、家庭内での子育てや高齢者介護など世代間で暮らしを支え合える、豊かで持続力ある社会の形成を目指します。また、ふるさと教育の充実により郷土愛の醸成を図るとともに、地域コミュニティ活動や地域の祭りなどの文化や伝統を継承していくことで、世代を越えた地域のつながりの強化を図ります。さらに、散居村の自然環境や買い物の便利さ、医療体制、犯罪や災害の安全性などに裏付けされた豊かな生活環境の中で、人の絆で支え合う「住みよい」砺波市づくりを進めていきます。

6 総合戦略の推進

産官学金労言および市民の代表により構成される「砺波市総合計画審議会」並びに市長を本部長とする「となみ創生まちづくり本部」が中心となった推進体制により総合戦略の推進を図るとともに、各基本目標ごとに目標値、各施策ごとにKPI（重要業績評価指標）を設定し、目標の達成状況等を点検・評価および改善するPDCAサイクルによる進行管理を行います。



(※) KPI（重要業績評価指標）：施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標

7 総合戦略の体系

基本目標	基本的な施策の方向性（案）
1 産業を育み、安定した雇用を創出する仕組みづくり	(1) 未来へつなぐ基幹産業の活性化と伝統産業の振興
	(2) 若者が誇りを持ち、いきいきと働ける仕事の創出
	(3) 若者が輝く元気な農業の実現
	(4) 人が集まる、人で賑わう、活気あるまちの実現
2 ふるさとの魅力を発信し、人を呼び込む・呼び戻す活力あるまちづくり	(1) 散居景観の保全と散居暮らしの魅力を発信
	(2) 地域資源の活用と選ばれる観光地づくりの推進
	(3) 住んでみたい、帰ってきたい、魅力あるふるさとの実現
3 若い世代の結婚、出産、子育て、教育の希望をかなえる環境づくり	(1) 結婚・妊娠・出産支援による家族を増やせる環境の充実
	(2) 安心して子育て・教育ができる、切れ間のない支援の充実
	(3) 自分らしく輝ける、仕事と生活の調和の実現
4 砺波らしい生活環境を守り育て、すべての世代が安心して暮らせる地域づくり	(1) みんな暮らせる、ずっと暮らせる、いきいきとした快適な暮らしの充実
	(2) 人の絆で支え合う、世代を超えて想いをつなぐ、心がかようコミュニティの実現
	(3) 連携事業による特色を生かした地域活性化の実現

II 基本的な施策の方向性とKPI

基本目標1 産業を育み、安定した雇用を創出する仕組みづくり

1 基本的方向

<p>○砺波市らしい産業の育成及び市独自の地域資源の活用や農商工連携を積極的に推進し、安定した経営基盤づくりと新たな雇用の創出を生み出す。</p> <p>○農林水産業における担い手の確保や育成を図りながら、生産性の向上を図るとともに、複合経営や6次産業化を推進して所得の向上を図る。</p> <p>○北陸新幹線の開業や高岡砺波スマートインターチェンジの開通など充実した交通環境を生かした新たな工場適地の整備を図るとともに、既存の工場適地への企業誘致を働きかけ、魅力ある働く場を確保する。</p>		
数値目標	現状値 (H26)	目標値 (H31)
新規雇用者数		
新卒者の地元就職率		

2 具体的な施策・事業および重要業績評価指標 (KPI)

(1) 未来へつなぐ基幹産業の活性化と伝統産業の振興

① 基幹産業の強化
<ul style="list-style-type: none"> ・市の既存企業の振興を図るため、新製品の開発や新分野進出に対する支援を行うとともに、国内外の販路拡大に向けた支援を図ります。 ・産業構造の変革に対応するため、企業の近代化・高度化に必要な経営診断の充実を図るとともに、新事業創出の機会や融資の拡充に努めます。 ・関係機関が連携して製造業を中心とした産業の活性化や経営環境の改善を図るとともに、関連産業である物流産業や情報通信産業の活性化を推進します。 ・経営者の資質向上や新規創業者の育成を図るため、経営講座の充実や先進企業などへの派遣研修を支援します。 ・産学官金労および市民の連携により、市内の中小企業が多様な人材を必要とする産業へ改革・成長を遂げていけるよう、プラットフォームによる支援体制の構築を図ります。
主な事業
<ul style="list-style-type: none"> ・重点支援のためのプラットフォーム機能の創造 ・地域産業振興事業 ・富山県西部連携首都圏 PR イベント ・商工業振興助成金 ・中小企業融資等制度

K P I	現状値 (H26)	目標値 (H31)
製造品出荷額		
② 伝統産業の振興		
<ul style="list-style-type: none"> ・庄川挽物木地の優れた加工技術を活用し、生活家具やインテリアなど現代的な生活にマッチした新しい分野における商品開発を支援します。 ・地場産品や地域特産品としてのオリジナリティあふれる商品を求める消費者の志向に応え、素材の良さをアピールする商品の開発を支援します。 ・インターネットのショッピングサイトなどを活用した通信販売や注文生産など、伝統工芸品や地場産品の知名度向上と販路拡大を支援します。 		
主な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・とнами産業フェアパワー博の開催 ・地域産業振興事業（再掲） ・伝統産業の販路拡大の支援 		
K P I	現状値 (H26)	目標値 (H31)
伝統工芸品の販売額		
③ 起業創業支援		
<ul style="list-style-type: none"> ・砺波市ハイテク・ミニ企業団地の運営支援を継続するなど、創業希望者の自立と経営基盤の強化を支援するとともに、独立創業に向けた事業用地の確保を支援します。 ・起業・創業を考える人に対して、市内外で飛躍できる産業となるよう、産官学金労などが一体となって支援できるようなプラットフォームによる体制整備を進めます。 ・都市圏からのU I J ターン者に対する起業・創業支援と住まい・オフィスの確保などをワンストップで行える体制整備を進めます。 		
主な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・独立創業に向けた事業用地の確保 ・地域が一体となった創業支援体制の整備 ・U I J ターン者の創業支援体制の充実 		
K P I	現状値 (H26)	目標値 (H31)
独立創業者数	0社	1社
④ コミュニティビジネスの推進		
<ul style="list-style-type: none"> ・農商工連携による新たな農産物加工品の開発や、農産物生産グループによるインターネットサイトでの通信販売などの取組みを推進します。 ・地域資源を活かしながら地域課題の解決を「ビジネス」の手法で取り組むコミュニティビジネスや、農商工連携・産官学連携によるビジネスの創出に努め、地域の人材やノウハウを活用することにより、地域における新たな創業や雇用の創出、地域コミュニティの活性化へとつなげます。 		

主な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・農商工連携に対する支援 ・コミュニティビジネス育成に対する相談支援体制の整備 		
K P I	現状値 (H26)	目標値 (H31)
コミュニティビジネスの育成件数	1件	5件

(2) 若者が誇りを持ち、いきいきと働ける仕事の創出

① 企業誘致の推進		
<ul style="list-style-type: none"> ・交通の要衝としての利点、災害発生のお少なさ、良質で豊富な水利、勤勉な気性に富む労働力など優れた立地条件をPRし、中京圏・関東圏などを中心とした都市との経済交流と新たな企業の立地を推進します。 ・各種のビジネスマッチングなどの機会を活用して、独自の助成制度をPRし、若者が魅力を感じる先端技術産業や知識産業などの新しい産業を頂点に、裾野の広い関連産業の誘致を図ります。 ・情報産業やクリエイティブ産業、データセンター、コールセンターなど、地方でも展開できる産業の誘致を積極的に推進します。 ・名古屋市に設置した「砺波地域情報センター」や「東海となみ野会」を通じて中京地域との交流人口の拡大を図り、新たな経済交流を進めます。 ・進出企業のニーズに応じて用地を造成する「オーダーメイド」方式による用地提供を図ります。 		
主な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致対策事業 		
K P I	現状値 (H26)	目標値 (H31)
企業立地件数	2社	5社
工業用水を活用する立地企業社数	0社	1社
② 新たな企業団地の整備		
<ul style="list-style-type: none"> ・新たな企業団地の整備を検討するとともに、企業団地周辺の基盤整備や環境対策を進めます。 ・企業進出に際し重視される要件は、本社・自社工場への近接性や市場への近接性といわれており、必要な企業用地を適切な価格で分譲でき、計画から操業までの期間が短く、陸路が整備され、労働力の確保が容易であることがポイントになるため、受け皿を準備して「誘導する」ことが重要であることから、高岡砺波スマートICの整備、北陸新幹線の開業の追い風を活かした企業団地の整備を進めます。 		

主な事業		
・ 企業団地周辺環境対策事業		
K P I	現状値 (H26)	目標値 (H31)
企業団地の整備面積		
③ 雇用環境の整備		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 成長産業の育成・誘致により、労働意欲を持つ誰もが、個々の能力に応じて就労できる雇用環境の確保に努めます。 ・ 砺波公共職業安定所との連携による求人情報の提供や雇用相談会の開催など、雇用のミスマッチ解消に向けた取り組みを推進するとともに、若者や女性が働きやすい雇用環境の整備を支援します。 ・ 労働力人口の減少に備え、元気で労働意欲が高く、豊富な経験と優れた技術を有する高齢者が活躍できる環境整備に努めます。 ・ 都市部での就職相談会や面接会の開催により、U・I・Jターンの定着を推進するとともに、高校生・大学生が行う企業訪問や雇用に関する講演会を通して、若者の労働意欲を育成するとともに、砺波市の住み良さのPRを行うなど、若者が砺波市で働きたいと思う環境づくりを進めます。 		
主な事業		
・ I T 企業やクリエイティブ企業の空き家誘致事業		
K P I	現状値 (H26)	目標値 (H31)
市内における企業訪問・相談会（講演会）	1回	2回

(3) 若者が輝く元気な農業の実現

① 担い手の育成・確保		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域農業の担い手となる認定農業者や集落営農組織の協業化や法人化を進めるとともに、新たな就農希望者向けの啓発・実地体験研修や認定就農者に対する実践研修などの支援を行います。 ・ 砺波平野の風土を活かした農地・用排水路の整備や担い手の育成を支援するため、経営体育成基盤整備事業などの土地改良事業の推進に努めます。 		
主な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業者育成・確保対策事業 ・ 農業経営等構造対策事業（担い手育成事業） 		
K P I	現状値 (H26)	目標値 (H31)
認定農業者数	139 経営体	143 経営体
新規就農者数	9人	毎年5人

② 農業の振興

- ・品質向上対策の徹底や直播栽培の拡大による低コスト化など、良質米生産体制の確立を進めるとともに、エコファーマーによる減農薬栽培など付加価値の高い米づくりやトレーサビリティ、農業生産工程管理（GAP）等、環境への負荷の低減や農産物の安全性に配慮した「環境にやさしい農業」への取組を推進します。
- ・新たな特産振興作物であるたまねぎのさらなる産地化をめざし、栽培技術の向上を図り生産技術指導体制の強化と施設等整備を支援します。
- ・ふく福柿やりんご、ぶどうなどの果樹について、安定した収穫量の確保と加工体制の整備、販路拡大を推進します。
- ・肉や牛乳の品質向上やブランド化を進め、畜産経営基盤の強化と生産環境の改善を指導します。

主な事業

- ・付加価値の高い米づくり
- ・園芸農業の振興
- ・農業基盤の整備

K P I	現状値 (H26)	目標値 (H31)
園芸作物の出荷金額		

③ チューリップの生産拡大

- ・チューリップ球根の生産拡大を図るため集落営農組織など、新たに球根生産に取り組む生産者を発掘し、技術的・設備的な支援を行います。
- ・チューリップ球根の生産拡大に向けて、ほ場の土壌改良や地力の増強など品質向上に必要な土づくりを支援するとともに、ネット栽培への取組みを推進するなど生産体制の充実に努めます。
- ・球根だけでなく、チューリップの新たな価値の発掘や新商品の開発など、チューリップの高付加価値化を目指します。

主な事業

- ・チューリップ球根の生産拡大支援
- ・チューリップの高付加価値化の推進

K P I	現状値 (H26)	目標値 (H31)
チューリップ球根出荷量	621.5万球	680万球

④ 6次産業化の推進		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業の6次産業化に取り組むとともに、農商工連携による新たな農産物加工品の開発や、農産物生産グループによるインターネットサイトでの通信販売など新たな取組みを支援します。 		
主な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 農産物生産グループに対する支援 		
K P I	現状値 (H26)	目標値 (H31)
6次産業化取組経営体数	2 経営体	4 経営体

(4) 人が集まる、人で賑わう活気あるまちの実現

① 商業の振興と中心地の賑わいづくり		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 気軽に歩いて・見て・触れるなど、まち歩きとして楽しめる商業空間の活性化を支援するとともに、郊外から商店街につながる都市計画道路整備や駐車場の整備などにより、中心市街地へのアクセス向上を図ります。 ・ 商店街の空き店舗の解消や起業家の育成等に努めるとともに、元気のある商店街づくりを進めるために、商店街を担う若手リーダーを育成し、新たな発想によるチャレンジを支援します。 ・ チューリップフェアと連携したイベントのほか、中心市街地に固有の文化や歴史行事、四季を通じたイベントの開催など、商店街の特色を生かしたまちづくりをめざします。 ・ J R城端線とタイアップしたイベントの企画や駐車スペースの確保、シャトルバスの運行など、公共交通機関と連携して商店街への誘客を図ります。 ・ 新しい商店街の機能として、地域住民の健康増進や生活支援など市町村が担う介護保険制度を活用した新事業の展開や子育て地域支援事業による子育て支援サービスの機能充実など、新たな価値・役割を創造し、商店街の活性化へとつなげます。 		
主な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き店舗再生みんなでチャレンジ事業 ・ まちなかイベント開催支援 ・ 商店街における生活支援サービス機能の充実 ・ 商店街における子育て支援サービス機能の充実 		
K P I	現状値 (H26)	目標値 (H31)
空き店舗再生みんなでチャレンジ事業の利用者数	5件	10件
まちなかイベント集客人数	17,000人	20,000人

基本目標 2 ふるさとの魅力を発信し、人を呼び込む・呼び戻す活力あるまちづくり

1 基本的方向

<p>○庄川と散居村に育まれた豊かな自然環境や祭り・イベント等を後世に引き継ぐとともに、その背景を生かした新しい地域資源の魅力を創出・発信し、国内外の交流人口の増加を図る。</p> <p>○代表的地域資源であるチューリップ等の砺波ブランドについて、新しい事業化のチャレンジを支援するなど、その付加価値を高める。</p> <p>○「住みよさ」の発信と地域の人の繋がりを生かし、人口流出を抑制するとともに、大都市圏に住む若い世代の移住・定住へつなげる。</p>		
数値目標	現状値 (H26)	目標値 (H31)
大都市圏からの転入者数の増加		
観光入込客数		

2 具体的な施策・事業および重要業績評価指標 (KPI)

(1) 散居景観の保全と散居暮らしの魅力を発信

① 散居村の景観保全		
<ul style="list-style-type: none"> ・屋敷林や伝統的家屋などの散居景観の保全を進めるとともに、散居村での暮らしに誇りを持ち、次の世代に伝えていけるよう取り組みます。 ・散居景観を観光・交流資源として活用できるように、散居村展望台やとなみ散居村ミュージアムなどを活かした地域活性化対策や市民の意識高揚を図ります。 		
主な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・農村環境創造事業 ・散居村ミュージアム管理運営事業 ・散居村連絡協運営事業 		
KPI	現状値 (H26)	目標値 (H31)
散居景観モデル事業自治会数	4 件	42 件
散居景観保全事業協定地域数	123 件	127 件

② 自然環境の景観保全		
<ul style="list-style-type: none"> ・「砺波市版レッドデータブック」の活用及び改訂を通して、農村地域や山間地域、砺波平野を流れる河川等に生息する動植物など、自然と人間が共生できる地域づくりに努めます。 ・森林の有する機能（水源涵養・山地災害と土壌保全・快適な環境形成・保健文化等）に応じて森林整備を進め、望ましい森林資源の姿となるよう努めます。 ・行政と市民が協働し地域に密着した里山を再生するとともに、人工林の公益的な機能の向上を図るよう森林の保全を進め、人と動物の棲み分けが誘導されるよう努めます。 		
主な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな森林づくり事業 ・レッドデータブック改訂事業 		
K P I	現状値 (H26)	目標値 (H31)
みどりの森再生事業	7.9ha	10ha
③ 花と緑のまちづくり		
<ul style="list-style-type: none"> ・花と緑のまちづくり条例に基づき、振興住宅団地を含む散居景観や一年を通じた色鮮やかな花、山間地を潤す緑など、色彩豊かで調和のとれた花と緑のまちづくりを目指します。 ・花と緑のまちづくり条例やグリーンプランに基づき、市民、行政、事業者が一体となって緑花意識の啓発を図るとともに、市民が主体となる花と緑のまちづくり活動を推進します。 ・花とみどりの少年団活動を支援し、花や木、緑に対する関心を高めるとともに、幼少期から地域や学校と連携し、花や緑に触れ合い、育む教育の充実を図ります。 ・結婚や誕生、新築のお祝いと緑花意識の啓発を図るため、記念樹交付事業を推進します。 		
主な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・花と緑のまちづくりの推進 ・記念樹交付事業 		
K P I	現状値 (H26)	目標値 (H31)
砺波市花と緑のコンクール参加件数	23件	25件
④ 散居村の空き家の利活用		
<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化や生活様式の変化などにより空き家が増えており、良好な散居景観の保全や維持管理のため、地域コミュニティと一体となった空き家対策に努めます。 ・都市からの定住者の住居だけでなく、シェアハウスや交流拠点、サテライトオフィスなどのほか、農地を一体で体験宿泊型農業施設として活用するなど、新たな利活用方法を検証し、交流・定住人口の拡大につなげます。 		
主な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・空き家利活用調査事業 		
K P I	現状値 (H26)	目標値 (H31)
散居村内の空き家バンク活用数		

(2) 地域資源の活用と選ばれる観光地づくりの推進

① 「花のまち となみ」のプロモーション促進		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 砺波チューリップ公園の再整備を行うとともに、飲食やブライダル等も含めた機能充実を図るなど、通年的に公園を訪れる賑わいを創出します。 ・ チューリップや桜、スイセン、花しょうぶ、カンナ、コスモスなど四季折々の花や花木を活用したイベントを充実し、「花と緑のまちとなみ」にふさわしい観光まちづくりを推進するとともに、大都市圏を中心とした情報発信を推進します。 		
主な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「花のまち となみ」プロモーション促進事業 ・ となみチューリップ公園整備 		
K P I	現状値 (H26)	目標値 (H31)
砺波チューリップフェア来場者数		
② 観光・交流の推進		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高速交通等により短時間で結ばれる広域的観光及び観光地と連携し、海外観光客の誘致を推進するなど、広域滞在型の観光を確立します。 ・ 姉妹友好都市やフラワー交流都市との相互交流を深めるとともに、中京・関東圏との都市交流を進め、観光客の誘致に努めます。 ・ 伝統的家屋での宿泊や散居村ツアーの企画などにより、都市との交流人口の拡大に向けた砺波型ツーリズムを進めます。 ・ 市民や関係団体等との連携により、地域資源の掘り起こしやブラッシュアップを進めるなど、地域密着観光の推進を図ります。 ・ サイクルステーションである庄川水記念公園を拠点として、サイクルスポーツによる観光ルートを開発を進めます。 ・ 子供歌舞伎曳山や獅子舞、夜高行燈など地域伝統芸能や各種の風習行事などを観光資源として積極的に活用し、交流・滞在人口の拡大につなげます。 		
主な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光ルートの開発 ・ 都市と農村との交流促進 		
K P I	現状値 (H26)	目標値 (H31)
外国人観光客数		

③ おもてなし力・観光客への利便性の向上		
<ul style="list-style-type: none"> ・市民による観光ボランティアやボランティア通訳の育成、外国人観光客に対応するガイド育成、接遇研修会の開催などを通じ、市民すべてが地域への愛着や誇りをもって観光客を歓待するホスピタリティあふれるまちづくりを進めます。 ・北陸新幹線停車駅やJR城端線の最寄り駅から観光地を結ぶ二次交通体系の充実により、観光客の利便性の向上を図ります。 		
主な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・観光ボランティアの育成 ・二次交通の整備検討 		
KPI	現状値 (H26)	目標値 (H31)
観光ボランティア数		
④ となみブランドの創出・魅力発信		
<ul style="list-style-type: none"> ・砺波市農業公社が行う「コシヒカリオーナー」制度や「散居のかおり」会員制度を積極的に活用して、「となみ米」のPRと販路拡大を支援します。 ・インターネットのショッピングサイトなどを活用した通信販売や注文生産など、伝統工芸品や地場産品の知名度向上と販路拡大を支援します。 		
主な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・となみブランド認定事業 ・「となみ米」のPR及び販路拡大支援 		
KPI	現状値 (H26)	目標値 (H31)
となみブランド認定数		
⑤ 国内外へのPRの推進		
<ul style="list-style-type: none"> ・多様化する動画配信サイトやネットワークサービスなどインターネットにおける情報技術を効果的に活用し、国内外に対して魅力ある観光情報の発信を推進します。 ・花が縁を取り持つフラワー都市交流を促進し、チューリップのまち「砺波」の情報発信を進めます。 		
主な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・チューリップのまち「砺波」情報発信 		
KPI	現状値 (H26)	目標値 (H31)
全国におけるマスコミ露出件数		

(3) 住んでみたい、帰ってきたい、魅力あるふるさとの実現

① 都市圏からの移住に対する支援		
<ul style="list-style-type: none"> ・都市圏からの定住を促進するため、砺波市での生活や住みやすさ、空き家情報バンクなど、ポータルサイトを通じた市内外への情報発信を推進します。 ・移住・定住に向けた情報提供や手続きなどの窓口の一元化を目指します。 ・地域おこし協力隊を活用して、地域資源の発掘や情報発信により移住・定住の促進を図ります。 ・多様な経験や技能を有する大都市圏の人材を市に呼び込み、活躍へとつなげられるよう、積極的なPRに努めます。 ・住民票が砺波市にあるもしくはふるさと納税を一定割合以上納める二地域居住者に対し、地域間の交通費に対する支援についての検討を進めます。 		
主な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・定住ポータルサイトの運営 ・定住相談支援体制の整備 		
KPI	現状値 (H26)	目標値 (H31)
大都市圏からの移住者数		
② Uターンに対する支援		
<ul style="list-style-type: none"> ・大都市圏におけるUターンフェアなどにおいて、市内企業への就職を促進するとともに、砺波市での生活に対する情報提供を合わせて行うなど、Uターンに対する支援を行います。 ・市外に進学した学生のUターンを促進するため、市内企業でのインターンシップ実施に対する支援を進めます。 ・砺波市で生まれ育った多様な経験や技能を有する大都市圏に住む人を市に呼び戻すことができるよう、同窓会開催支援や市での生活の魅力発信を進めます。 ・大学生に対する奨学金制度について、企業等との連携により利用しやすい方法等について検討し、経済的支援を行うなど、大都市圏に進学した学生のUターン促進を図ります。 		
主な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・Uターン相談支援体制の整備 ・市内企業におけるインターンシップの推進 ・砺波市版奨学金制度の検討事業 		
KPI	現状値 (H26)	目標値 (H31)
Uターン窓口相談回数		

基本目標3 若い世代の結婚、**出産**、子育て、教育の希望をかなえる環境づくり

1 基本的方向

<p>○理想とする子どもの数をかなえられるよう、「結婚・妊娠・出産・子育て」までの切れ目ない支援を強化し、地域ぐるみで安心して子育てができる環境を整備する。</p> <p>○「人」と「心」を育む教育を通じて、子どもの生きる力や郷土愛の醸成を図る。</p> <p>○男女共同参画及びワーク・ライフ・バランスの推進により、若者・女性の能力や感性を最大限に生かした経済活動を促進する。</p>		
数値目標	現状値 (H26)	目標値 (H31)
出生数		
30～34 歳男性未婚率		
30～34 歳女性未婚率		

2 具体的な施策・事業および重要業績評価指標 (KPI)

(1) 結婚・妊娠・**出産**支援による家族を増やせる環境の充実

① 結婚促進に対する支援		
<ul style="list-style-type: none"> ・若年層を対象に、「恋愛をし、結婚をし、家庭をつくる準備」のためのセミナーを開催するなど、将来の結婚に対する意識啓発を図ります。 ・「出会い・結婚」について、対象となる若者や未婚者の実情を把握し、働きかけることを意図する事業を民間団体と連携して実施します。 ・「となみおせっかい」の活動に対する支援を行い、情報提供やイベントの開催等による未婚の男女の結婚促進を図ります。 		
主な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・若者婚育事業 ・縁結びおせっかい事業 		
KPI	現状値 (H26)	目標値 (H31)
婚活事業実施による成婚数	0組	3組

② 妊娠・出産に対する支援		
<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期や出産期、新生児期を通して母子の健康が確保されるよう、妊産婦及び乳幼児健康診査の充実や受診勧奨を図ります。 ・パパママクラスや育児相談、訪問指導を通じて、妊娠・出産・育児不安の解消に努めます。 ・不妊治療に関する情報提供や相談体制の整備を図るとともに、治療に要する医療費の一部助成を行うなど、経済的負担の軽減を図ります。 		
主な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦健診 ・妊産婦医療費助成 ・パパママクラス ・不妊治療費助成 		
K P I	現状値 (H26)	目標値 (H31)
妊婦健診実施回数		5,180回

(2) 安心して子育て・教育ができる、切れ間のない支援の充実

① 子育て支援サービスの充実		
<ul style="list-style-type: none"> ・病児・病後児保育や放課後児童クラブなど、各種子育て支援サービスの充実や相談支援体制の整備を図ります。 ・子育てに関する相談指導や仲間づくりなど、すくすく広場や子育て支援センターにおける子育て相談・支援体制の充実を図ります。 ・こども医療費の助成や多子家庭に対する経済的な支援など、安心して子育てができるよう支援を図ります。 ・ひとり親家庭等の現状を把握し、子育て等の日常的な生活や、就業・養育等に対する支援を総合的に行います。 ・障がい児の健全な発達を支援し、身近な地域で安心して生活できるよう、保健・医療・福祉・教育等の連携により、一貫した総合的な取組みを推進します。 		
主な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・時間外保育事業 ・病児・病後児保育 ・地域子育て支援拠点事業 ・ファミリーサポートセンター事業 ・放課後児童クラブ 		
K P I	現状値 (H26)	目標値 (H31)
ファミリーサポーター登録者数	167人	170人
子育て支援センター利用者数		
放課後児童クラブ数	11クラブ	11クラブ

② 保育・幼児教育の充実		
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもをもつ親が安心して子育てできるよう、時間外保育や休日保育など、多様なニーズに対応できる保育サービスの充実を図ります。 ・質の高い教育・保育を提供するために保育士や幼稚園教諭への支援を行い、資質の向上を目指します。 ・幼保の一体化を図るために、幼保連携型認定こども園の設置を推進するとともに、民間事業者に対する支援を行います。 ・保育施設における耐震改築の整備を検討するとともに、幼稚園施設における預かり機能の充実など子育て・保育ニーズに対応した効率的な取組を検討します。 		
主な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・保育サービスの充実 ・幼児教育の充実 ・認定こども園の設立支援 ・幼保一元化推進 ・幼・保・小連携推進 		
K P I	現状値 (H26)	目標値 (H31)
認定こども園の設置数	0	5 施設
③ 子育てしやすい環境整備		
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て中の親が気軽に相談できる体制整備や子育てサークルへの支援など、地域における子育て支援ネットワークの形成を図ります。 ・公共施設や歩道等のバリアフリー化を推進するとともに、子どもを犯罪や事故から守るための子どもたちの見守り活動や地域パトロールなど、子どもが安全に暮らせる環境整備を進めます。 		
主な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・児童館、児童センター ・子育て支援ネットワークの形成促進 ・地域パトロール隊、子ども見守り隊に対する支援 ・子ども 110 番の家の設置 		
K P I	現状値 (H26)	目標値 (H31)
子育てサークル数		

④ 学校教育の充実		
<ul style="list-style-type: none"> ・少人数クラスの推進を図るとともに、学習支援員やスタディメイト、ALT（外国語指導助手）によるきめ細やかな教育を推進するなど、確かな学力の向上を目指します。 ・学校教育目標の実現に向け、創意工夫を生かした特色ある学校づくりに努めるとともに、保護者や地域から信頼される開かれた学校を目指します。 ・小・中学校において、とやま型学力向上プログラムの活用や習熟度別等の少人数指導を継続し一人ひとりに応じた指導の充実を図るとともに、学習の基礎・基本を確実に身につけ主体的に問題解決できる、生きる力を身につけた児童・生徒の育成をめざします。 ・「いのち」の教育や市内小中学校における心の教育、「健やかな砺波っ子を育てる家族のつながり」など、心豊かに育つような教育の推進を目指します。 ・児童生徒等の安全・安心で豊かな教育環境を整備するため、老朽化対策を推進します。 		
主な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・スタディメイト、学習支援員等による少人数指導 ・学習支援ボランティア活用事業 ・心の教室運営事業 		
K P I	現状値 (H26)	目標値 (H31)
スタディメイト配置数		
小中学校のエアコン設置数		
教育用パソコン更新台数		
⑤ ふるさと教育の推進		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の風土と歴史に育まれた人的・物的資源を活用し、人権教育や福祉教育、国際理解教育、環境教育、情報教育、ふるさと学習などの推進に努めます。 ・学校行事等において、地域の方から学んだり、地域の方とのふれあいや交流を深めたりする活動を充実させます。 ・「社会に学ぶ14歳の挑戦事業」などの勤労体験の充実により、働く喜びや勤労に感謝する気持ち、地元で働きたいという意識の醸成を図ります。 		
主な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティーチャーの招請推進 ・ふるさと「となみ」探訪事業 ・社会に学ぶ14歳の挑戦事業 ・健やかな砺波っ子を育む学校、家庭、地域連携事業 		
K P I	現状値 (H26)	目標値 (H31)
ふるさと「となみ」探訪事業を実施した学校数	12校	12校

(3) 自分らしく輝ける、仕事と生活の調和の実現

① ワーク・ライフ・バランスの推進		
<ul style="list-style-type: none"> ・育児休業や育児休暇の定着など雇用環境の整備に向け、事業主団体を通して民間企業などに積極的に働きかけを行います。 ・労働人口の減少に対応した高齢者の職業能力の開発や熟練技術者の活用を進めるとともに、ワーク・ライフ・バランスに配慮した育児休業取得の推進、企業内保育の充実など、子育て世代が働きやすい環境づくりの啓発に努めます。 ・男女が仕事や育児などを協力し合う意識の醸成やワーク・ライフ・バランスが取れた生き方ができるよう啓発を進めるとともに、育児・介護に関するきめ細かな施策やサービスを行います。 		
主な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・ワーク・ライフ・バランスの考え方の広報啓発 ・仕事と子育ての両立に向けた情報提供及び周知 ・育児休業の取得推進 		
K P I	現状値 (H26)	目標値 (H31)
男性の育児休業取得率		
② 男女共同参画の推進		
<ul style="list-style-type: none"> ・男女がそれぞれの個性と能力を発揮するため、家庭、地域、学校、職場などにおいて、性別による固定的な役割の意識を見直し、互いの人権を尊重し協力して生きる社会づくりの推進や啓発を行います。 		
主な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画推進事業 		
K P I	現状値 (H26)	目標値 (H31)
夫は外で働き妻は家庭を守るべきという考えに反対の市民割合	67.7%	80.0%

基本目標 4 砺波らしい生活環境を守り育て、すべての世代が安心して暮らせる地域づくり

1 基本的方向

<p>○高齢者が健康で自立した生活を送れるよう、健康寿命の延伸に取り組むとともに、食育を通じた健康増進を図る。</p> <p>○商業地域を核とした住環境整備、利便性の向上を図るとともに、中山間地域など人口減少地域における生活環境を確保する。</p> <p>○三世帯同居・近居や地域活動の活性化等を通じて、安全・安心な「住みよさ」を地域全体で整備する。</p>		
数値目標	現状値 (H26)	目標値 (H31)
砺波市の生活の満足度		
健康寿命		

2 具体的な施策・事業および重要業績評価指標 (KPI)

(1) みんな暮らせる、ずっと暮らせる、いきいきとした快適なくらしの充実

① 住宅の整備		
<ul style="list-style-type: none"> ・優良宅地の供給や散居景観に配慮した居住環境の整備を進めます。 ・老朽化している市営住宅について計画的な改修を行うとともに、市営住宅の直接建設方式に加え、民間活力を導入した借上方式について検討するなど、住宅の確保に努めます。 ・民間住宅と連携しながら、花や緑にあふれる快適な住環境づくりに努めるとともに、空き家バンクの充実や利用促進を図るなど、住みやすい住宅の供給に努めます。 		
主な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・優良宅地の供給推進 ・市営住宅の整備 ・空き家バンクの充実及び利用促進 		
KPI	現状値 (H26)	目標値 (H31)
地域優良賃貸住宅戸数		
② 生活基盤の整備		
<ul style="list-style-type: none"> ・上下水道の適正な運営、新砺波図書館、チューリップ公園の整備、情報インフラの整備など、快適に暮らせる生活基盤の整備を進めます。 ・子どもや高齢者が安全で安心して生活できるよう、地域ぐるみの除排雪体制の確立を推進するとともに、地域や民間企業における除雪機械オペレーターの養成への支援を行います。 		

主な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・上下水道の適正運営 ・チューリップ公園の整備 ・新砺波図書館の整備 ・除排雪体制の整備 		
K P I	現状値 (H26)	目標値 (H31)
水道普及率		
人口1人あたりの都市公園面積		
図書館貸し出し冊数		
③ 交通網の整備		
<ul style="list-style-type: none"> ・市民が利用しやすい公共交通網の整備促進を図るとともに、並行在来線及びJR城端線の運営について、県、関係市町村と連携し利用促進を図ります。 ・市内を運行する市営バスについて様々な意見の聴取、調査等を行った上、運行区域、時刻を見直し、地域事情に合ったコミュニティバスとしての利用促進を図り、市民が利用しやすい運行ダイヤを検討します。 ・都市機能や公共交通の充実などにより、環境に優しく歩いて暮らせるコンパクトなまちづくりを推進します。 		
主な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・市営バスの利用促進 ・市営バスのアクセス向上 		
K P I	現状値 (H26)	目標値 (H31)
市営バス利用者数		
④ 防災・消防体制の整備		
<ul style="list-style-type: none"> ・各地区自主防災組織などに対し、「ゆれやすさマップ」、「洪水ハザードマップ」や「土砂災害ハザードマップ」などを活用し、地域における危険箇所や避難経路、避難場所等を周知徹底や、効果的な地区防災訓練の支援など、日頃から地域一体となった防災活動が行えるよう、地域防災力の強化を図ります。 ・地震や風水害をはじめとした様々な被害に対する知識の普及に努め、防災意識の高揚を図ります。 		
主な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップの更新、活用 ・地区防災訓練に対する支援 ・自主防災組織に対する支援 ・消防団に対する支援 		

K P I	現状値 (H26)	目標値 (H31)
自主防災組織数		
消防団員数		

⑤ 健康づくりの推進		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 出前講座などにより健康教育を実施し、心身の健康に対する意識啓発に努めるとともに、市民が電話や窓口などにおいて、健康に関する悩みを気軽に相談できるような環境づくりに努めます。 ・ 市民の健康寿命を延ばし、健康で明るく活気に満ちた地域を目指し、市民、関係機関、行政が一体となった健康づくりを総合的かつ計画的に推進します。 ・ 乳幼児から高齢者までのライフステージに合った健康診査や健康相談を実施するとともに、それぞれの身体の状況に適した保健指導を行うなど市民の健康管理に対する支援を行います。 ・ 介護に頼らない自立した生活を送るため、各々の健康状態に応じた運動や栄養指導など介護予防を推進します。 ・ 高齢者の健康保持や介護予防に向け、地域包括支援センターや健康センターの連携により、庄川健康プラザや福祉センターなどを活用した事業を展開します。 ・ 心の病気に関する正しい知識の普及に努め、早期に相談や治療ができるような体制の整備を図ります。 		
主な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康づくり普及啓発事業 ・ 健康診査事業 ・ 特定保健指導事業 		
K P I	現状値 (H26)	目標値 (H31)
健康教育の参加者数	7,225 人	7,500 人
⑥ 医療体制の整備		
<ul style="list-style-type: none"> ・ きめ細かな医療サービスや必要に応じた専門的治療が提供されるよう、かかりつけ医と医療機関との連携強化や役割分担の体制整備に努めます。 ・ 市立砺波総合病院については砺波医療圏における中核病院として、がん診療、救急医療、災害医療、へき地医療などに対応できる医療体制の整備を進めます。 		
主な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・ かかりつけ医の連携強化 ・ 市立砺波総合病院の体制強化 		
K P I	現状値 (H26)	目標値 (H31)
医療機関数		

⑦ 介護・福祉体制の充実

- ・高齢者が住み慣れた地域で安心した生活が送れるよう、地域密着型サービスの整備を図り在宅生活の支援に努めるとともに、見守り活動などの支援体制を強化します。
- ・65歳以上のひとり暮らしや老々世帯が増加しているなか、在宅で高齢者を支える生活支援サービスやホームヘルプサービス事業などの充実を図ります。また、在宅生活の継続を図るため、介護者の心身の疲労等を軽減するサービスに取り組みます。
- ・地域支援事業や予防給付、保健事業などの取組が一貫して実施されるよう、医療・保健・福祉の各種サービスの総合的な提供体制を確立します。
- ・増加する高齢者に対応するため、在宅復帰支援体制の強化、地域のかかりつけ医や介護福祉施設等との連携を進めるとともに、地域の医療機関や福祉機関、訪問看護ステーションの連携により、民間活力の参入も視野に入れた在宅医療体制の拡充を図ります。
- ・要介護・要支援高齢者ができるだけ自立した生活を送ることができるよう、地域における包括的かつ継続的なケアマネジメントや総合相談など、介護保険制度に基づく幅広いサービスを提供していきます。
- ・高齢者が住み慣れた地域でいきいきと生活することができるよう、高齢者や家族に対する総合的な相談・助言をはじめ、予防給付、ケアプランの作成、ケアマネジャーに対する指導・助言などの支援体制の充実を図っていきます。
- ・砺波地方介護保険組合との連携により、ケアマネジャー（介護支援専門員）の充実を図るとともに、地域包括支援センターや在宅介護支援センターの事業運営など、地域に根ざしたサービスが提供できるよう支援します。

主な事業

- ・見守り活動に対する支援
- ・要援護者等日常生活支援
- ・地域包括支援センターの運営支援
- ・地域ケアネットへの支援

K P I	現状値 (H26)	目標値 (H31)
要介護認定率		
ケアネットチーム数	249	275

⑧ 生きがいづくりの推進		
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者がこれまで培ってきた知識や経験を若い世代に伝える世代間交流や、健康の保持・増進のためのスポーツ・レクリエーション活動、知識や教養を高めるための生涯学習や社会奉仕活動、花や緑にふれあう活動など、高齢者が地域社会に参画する活動を支援します。 ・高齢者の能力を活かした活力ある地域社会づくりをめざし、砺波公共職業安定所などと連携した就労支援を図るとともに、シルバー人材センターの運営支援やサービス業務の積極的な利用促進を図ります。 ・散居村の空き家等を利活用して保育士経験者など的高齢者による小規模保育を行うなど、子育て支援を行うことによる高齢者の生きがいづくりを進めます。 		
主な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の生きがいと社会参加事業 ・高齢者学習推進事業 ・シルバー人材センター運営事業 		
K P I	現状値 (H26)	目標値 (H31)
高齢者学級(21地区)参加延人数	6,057人	6,220人
老人クラブ加入率		

(2) 人の絆で支え合う、世代を超えて想いをつなぐ、心がかようコミュニティの実現

① 地域コミュニティの活性化		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題に主体的に取り組む各地区自治振興会に対して、人的・財政的な支援の充実を図るとともに、地域の特徴を活かした協働のまちづくりに向けた連携の強化を進めます。 ・研修会や社会活動を通してコミュニティ活動やボランティア活動の中心となる人材育成に努めます。 ・昔からのしきたり、習慣や地域活動への無理な参加を重荷に感じる若者も多いため、新しい形の緩やかなコミュニティづくりについての調査研究を進めます。 		
主な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティ活動に対する支援 		
K P I	現状値 (H26)	目標値 (H31)
市ボランティアセンター登録人数(個人+団体)	4,926人	5,500人

② 三世代同居・近居の推進		
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭内での子育てや高齢者介護など、世代間で支え合う機能が期待される三世代同居・近居を推進するため、三世代同居・近居に係る住宅の新築や改修費用に対する支援や三世代同居や近居で子育てする親への支援などを行います。 ・昔ながらの道具や遊び、スポーツ、レクリエーション等を通して三世代交流を行う活動に対する支援を行います。 		
主な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・三世代同居住宅支援事業 ・孫とお出かけ支援事業 		
K P I	現状値 (H22)	目標値 (H31)
三世代同居率		
③ 地域の伝統文化の継承		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の自然、伝統文化を通して故郷を意識し、郷土への愛着と誇り、感謝の気持ちを抱き、人間性を育むよう地域文化の継承を支援します。 ・国指定史跡の増山城をはじめとする指定文化財やふるさと文化財等を普及・啓発するとともに、デジタルミュージアム「砺波正倉」を随時更新し、市の文化財等について情報発信を進めるとともに、後世への継承を図ります。 ・子供歌舞伎曳山や獅子舞、夜高行燈、五ヶ種チョンガレ、砺波えんじやら節など地域の伝統文化・芸能が継承されるよう支援します。 		
主な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・文化財の保存 ・「砺波正倉」の更新 		
K P I	現状値 (H26)	目標値 (H31)
デジタルミュージアムへのアクセス数	26,625 回	29,000 回

(3) 連携事業による特色を生かした地域活性化の実現

① 広域連携の推進		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 県西部地域や飛越地域との交流を深めるなど、市や県の区域を越えて、観光と産業が一体となった観光宣伝事業を展開します。 ・ 富山県西部地域6市（砺波市、高岡市、氷見市、小矢部市、南砺市及び射水市）が連携して、「富山県西部圏域連携都市圏形成推進協議会」を設置し、観光、防災、医療、公共交通など様々な分野で重層的な都市連携を進めていきます。 		
主な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「富山県西部圏域連携都市圏形成推進協議会」による連携推進 ・ 地（知）の拠点大学による地方創生推進事業 		
K P I	現状値（H26）	目標値（H31）
「富山県西部圏域連携都市圏形成推進協議会」による連携事業数	0 事業	3 事業
② 大学連携の推進		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学との協働により、地域が求める人材を養成するために必要な教育カリキュラムを行う大学を支援するとともに、学生にとって魅力ある就職先を創出する「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業」の取組みを推進します。 		
主な事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業」 		
K P I	現状値（H26）	目標値（H31）
「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業」による連携事業数	0 事業	3 事業